

日本共産党
山形市議団報告

2007年
5月27日
第1197号

日本共産党山形市議団
山形市小白川町四 一三 一五 電話(六四二)四三三三
メール 023642431@ams.odn.ne.jp
市議会議員 高橋か一郎 柏倉一二七 (六四三)三四三九
今野 誠一 船町一六一 (六八四)九八三二
佐藤あき子 青田一七・三六A (六四二)八六四〇
ホームページ <http://www2.odn.ne.jp/jsc-junsei/>

住民税増税するな

今野誠一、佐藤あき子市議が署名訴え

党県委員会と村山地区委員会は、二十一日昼、山形市七日町で住民税増税反対の緊急署名行動を行いました。山形市議団からは、今野誠一、佐藤あき子市議が参加しました。

今野、佐藤市議は、「空前の利益をあげている大企業には減税をし、庶民には定率減税の廃止で、六月からは住民税の大増税が実施される。これが実施されれば、くらしも営業もさらに大変になる。税金の使い道をかえ、大企業や大金持ちに自分の負担を求めれば、社会保障の財源は出る。庶民大増税はただちに中止すべきだ」とハンドマイクで訴えました。行動では、「年金の二カ月分が税金です。これ以上税金が上がれば生活できなくなる。増税は困ります」と住民税増税に対する怒りの声が寄せられました。



党議員研修会開かれる

五月十九日、二〇日に日本共産党の議員合宿研修会が鶴岡市内で行われました。山形市議団からは佐藤あき子市議が参加しました。

一日目は、小竹輝弥元県議が「野党を貫いて三二年」の回想録をもとに、「地方自治法をよくつかみ、議会活動に活かしていくことが大切」と長年の議員経験にもとづきさまざまなエピソードをまじえ語られました。二日目は、本間党和也党県委員会副委員長が、議員の役割と議会活動について報告。

その後の討論では、各議員から公約実現にむけこれまでの要求実現の経験交流や多重債務などの生活相談の取り組み、インターネット(ホームページやブログ)の有効活用、などについて活発な議論がかわされました。



貿易自由化は食と農業を破壊する 全国食健連 国際フォーラムに 高橋か一郎市議参加

全国食健連は十九日、韓国とフィリピンの農業団体の代表を招き、東京板橋で国際フォーラムを開催しました。パネリストの農民連・白石淳一会長は、「北海道で二〇〇〇年から五年間で一〇、七〇〇戸(15%)が離農した。米価下落で、規模拡大しても「赤字を増やすだけ」という状況。政府が進めている農政改革はWTO体制を前提に進め、農村は混乱が広がっている」と述べました。

韓国からきた全国女性農民会総連合政治委員長のイ・ジュンオクさんは、「日本の平和憲法を改定することに良識ある方々は心配している。新自由主義に反対する女性農民連は50地域にのぼる。チリとのFTAの自由貿易協定、次はアメリカを進めているFTAとなれば、公共性が破壊され、生存権が奪われ、失業者が大量に出る。農業はダメになる。農民のたたかいで40人余が逮捕されている」と述べました。フィリピン農村・農民自主組織全国連合副会長のエバンジェリアン・メンドーサさんは、「120万ヘクタールを中国の企業に管理・技術投資され、先住民の生活が奪われている。バナナ園は大量の人間が犠牲のもとに血の上に作られている。禁止農薬漬けのバナナであり、殺虫剤で一万人以上死亡している」と述べました。

コーデイナーの坂口正明・全国食健連事務局長は、各国は食料主権を持っている。資本の論理、多国籍企業の支配を許さない連帯の運動が重要と強調しました。

6月議会日程

- 六月 七日(木) 本会議
- 六月 十二日(火)・十三日(水) 本会議・一般質問
- 六月 十四日(木) 予算委員会
- 六月 十五日(金) 予算分科会、常任委員会
- 六月 二十一日(木) 予算委員会、全員協議会
- 六月 二十二日(金) 議会運営委員会
- 六月 二十五日(月) 本会議

6月議会(6月7日開会予定)の
請願の締め切りは、
5月28日(月)です